

22 日 獣 発 第 37 号
平成 22 年 4 月 30 日

地 方 獣 医 師 会 会 長 各 位

社 団 法 人 日 本 獣 医 師 会
専 務 理 事 大 森 伸 男

狂 犬 病 ワ ク チ ン 安 全 情 報 等 に つ い て (第 2 報)

標記の件につきましては、先に平成 22 年 4 月 26 日付け 22 日 獣 発 第 29 号によりお知らせするとともに、併せて予防注射に伴う副反応への適切な対処について貴会関係会員獣医師に対するご指導等お願いしたところであります。

この度、この件に関し、先に自ら安全情報の提供をいただいた(株)微生物化学研究所から別紙により情報提供の趣旨等について誤解のないよう連絡を受けたところであります。

もとより薬事法等の法令の基づく報告をはじめ情報の提供等は我々獣医師専門職はもちろん医薬品の開発・製造・流通等の業に当たる者の責務であります。

今回の件はその責に当たる者、自らが自前の情報を行政当局をはじめ獣医師会にも提示いただいたものでありますが内容は既に先の通知にても説明がなされたとおり、特定製造メーカーの特定ロットに起因する特別の事例に係るものではないことは、動物薬事行政当局も理解しているところであります。従いまして、この旨ご理解の上、一般論としての動物診療における予防注射実施に当たっての動物の副反応に対する臨床対応及び動物飼育者に対する保健衛生指導等について、なお一層の留意を関係獣医師に対しご指導賜りたくよろしく申し上げます。

(注) 本件内容の問い合わせは、長野事務局職員までお願いします。

平成 22 年 4 月 29 日

社団法人 日本獣医師会 様

社団法人日本獣医師会様宛狂犬病ワクチン - TC に係わる安全情報文書の件について

京都府宇治市槇島町 24、16 番地
株式会社 微生物化学研究所

平素は弊社のワクチンをご愛顧いただき誠に有難うございます。

早速ですが、この度弊社が社団法人日本獣医師会様宛に狂犬病ワクチン - TC の安全情報文書をお出ししたところ各方面からお問い合わせを多く承りましたので、再度この文書を提出した経緯を説明させていただき、真意をご理解いただきたく何卒宜しくお願い申し上げます。

また獣医師会ご関係者、狂犬病予防事業関係者の皆様にご周知いただきますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

今回の安全情報は、調査の結果、特定のロットにより発生している事象ではなく、製品の品質に問題がないことを確認した上でお出ししたものであります。現在今年度狂犬病予防事業が実施されている中、文書にありましたような事例が本年認められたことを弊社としては大変懸念し、動物用医薬品 GVP 省令にのっとり、副反応及びその対応について関係皆様に情報提供すると同時に、再度注意喚起すべきと考え社団法人日本獣医師会様に提出した次第でございます。

今回誤ったご理解をしたご関係者から製品の不具合等による回収等のご質問が大変多くなっておりますので決して誤解のないようお願い致します。

今後も弊社は弊社製品の副反応の状況を関係皆様に早く正直に公表し、注射事故を未然に防ぐべく安全確保に努力いたす所存であります。

何卒宜しくお願い申し上げます。

